

■授業の目的

教員を目指す学生を対象にした日本史である。高校時代に習った日本史の背景にある史料、学説などを紹介しながら日本史に対する知識、理解、専門性を深め、歴史的なものの見方や面白さも伝えていく。

■授業の到達目標

原始古代から現代にいたる日本史の流れをしっかりと理解することを第一の目標とする。その上で歴史は史料に裏付けられていることを理解し、史料に基づいて歴史像を復元する力の養成を目指す。

■授業計画

- 1 織豊政権
兵農分離や石高制など近世社会の枠組みを作り上げた織豊政権の特質について考える。
- 2 幕藩体制の成立と展開
江戸時代前半を中心に江戸幕府の支配システム、鎖国政策、政治過程などを考える。
- 3 幕政の改革
江戸中期以降の幕藩体制の動揺とそれへの幕府側の対応について考えていく。
- 4 幕藩体制の崩壊
開国とその影響、公武合体と尊王攘夷運動など江戸幕府の崩壊に至る政治過程を考える。
- 5 明治政府の成立
江戸幕府を倒して成立した明治政府はどのような政権だったのか、初期の明治政府について考える。
- 6 明治前半の流れ
明治時代前半の流れを自由民権運動などを取り上げながらまとめていく。
- 7 明治前半の流れ
前回に引き続き明治時代前半の流れを大日本帝国憲法や初期議会などを取り上げながらまとめていく。
- 8 明治後半の流れ
明治時代後半の流れを政党政治や対外関係などを取り上げながらまとめていく。
- 9 大正時代の政治と社会
大正時代の政治、社会の様子や第1次大戦とその後の世界について考える。
- 10 昭和史(戦前) 1
戦前の昭和の歴史について政治の動きを中心にとりあげ、まとめていく。
- 11 昭和史(戦前) 2
前回に引き続き政治の動きを中心に昭和史の流れを概観しまとめていく。
- 12 戦後史 1
明治から大正、昭和にいたる政党政治の流れを整理して戦前の日本の政治について考える。
- 13 戦後史 2
終戦直後から経済大国、バブル崩壊を経て現在に至る戦後の日本の歴史を考える。
- 14 戦後史 3
終戦直後から経済大国、バブル崩壊を経て現在に至る戦後の日本の歴史を考える。
- 15 後期のまとめ
これまでの講義内容を振り返り、まとめながら近世から現代にいたる日本史の流れを大きくつかむ。試験も実施する。

■授業の方法

授業は講義形式で進めるが、受講者にも主体的な参加を求める。毎回受講者の意見などを聞き、それらをもとにしながら講義を進める。毎回レジュメを配布するが、授業終了時にはリアクションペーパーの記入、提出を求め、双方向の授業を目指す。

■予習・復習

授業に合わせて高校時代に学んだ「日本史」の内容を高校日本史の教科書などで読んでおくこと。それとともに日本史に関する概説書や授業中紹介する参考文献などを読むことをもって予習・復習とする。

■成績評価の方法

試験 80%、リアクションペーパーなど授業への参加度 10%、小テスト 10%。試験後フィードバックとして解説を行う。

■教科書・参考書

(参考書) 高校時代使用した日本史の教科書

佐々木潤之介ほか編『概論日本歴史』吉川弘文館、2000年

■関連する科目

社会科地歴科教育法、公民科教育法をはじめ幅広く世界史、地理、政治、経済など社会科に関係する科目。